

謹賀新年

さがえ屋通信

お客様とのご縁を紡ぐおせんべい

睦月
2023.1.10

煎餅工房さがえ屋
通販事業部
山形県寒河江市
中央工業団地16
TEL:0120-38-3324
FAX:0120-05-3324

お正月に素朴な田楽料理を味わう幸せ

素材の良さを
とことん味わう

田楽とは平安時代に農村で豊作を願う風習の「田楽舞」が由来とされています。さがえ屋がある寒河江市でも昔から1月15日に田楽を食べる風習が残っています。新年を迎えて田楽を食べながら五穀豊穣を願う。また生産者さんに感謝の気持ちを込めていただく田でもあります。

田楽に使う材料はお餅、豆腐、こんにゃく、そして田楽みそ。材料はできるだけ良いものを選ぶのがポイントです。

【材料】お餅（丸もち）4個、焼き豆腐一丁、こんにゃく一枚、田楽みそ（酒2の0の0、砂糖1の0の9、みそ大さじ2、くるみ50g）

【作り方】鍋に酒、砂糖、みそを入れ火にかけ練り、アルコール分を飛ばしきだれを作ります。くるみはフードプロセッサーに入れ滑らかになるまで攪拌し、①粗熱をとつたみそだれと合わせ、さらに攪拌し、田

樂みその完成です。②③焼き豆腐は三等分にし、串を打ちフライパンで温めます。④「こんにゃくは1cm幅に切り串を打ち5分ほど茹でます。⑤お餅はおいしいお餅「出羽のもち」を使用。魚焼きグリルを使い焼き、柔らかくなったら串を打ちます。⑥最後にそれぞれ調理した材料に田楽みそをつけて完成です。甘い田楽みそが素材の旨みを引き出し最高です。

正月は幸せを願うイベント目白押し

寒河江市の風習では1月6日にはひょう干しの煮物、1月7日には七草粥の代わりに納豆汁を食べて幸運や無病息災を願います。昔は8日に「とろろ」をすって玄関にまくことで、悪い物が滑って入ってこれなくする風習もあったとか。クリスマスやバレンタインもいいけれど、こういう地元の風習も大切にしたいですね。

田楽料理 3種

お正月に五穀豊穣を願う

ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅
(実家の食卓)



やまがた
音と光の
ファンタジア

ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅
(山形県寒河江市 最上川ふるさと総合公園)



音と光が織りなす
幻想的な空間

私が訪れた日は雪がちらつく日でしたが、多くの人でにぎわっていまして。駐車場からセンターハウスに向かうと、建物の向こうにメイン会場が見えてきます。その景色はまさに「光の森」。会場全体が美しい光であふれていました。高さ7mを超え公園の木々が彩り豊かに輝いていました。その光は音楽に合わせて色合

ネット店青柳のあとがきに代えて

市民の憩いの場 最上川ふるさと総合公園

山形県寒河江市にある最上川ふるさと総合公園は最上川沿いに整備された広大な都市公園です。センターハウスを中心に広がる敷地には子どもが遊べる遊具や散策コース、ドッグランやスケートパークもあり、市民はもちろん、県内外からたくさんのお客様が訪れます。また季節ごとにイベントも盛んに行われています。近くに温泉施設や農産物直売所などもあり、さくらんぼの季節には観光客でぎわいます。雪に覆われるこの時期でも冬を楽しむイベントがあります。今年は音と光のアーバンアート「光の森」を開催されます。

冷えた体は温泉で癒す
さあさあ、だいぶ体が冷えてきましたよ。でも安心! ここは温泉施設があります。それぞれ泉質が異なる3つの浴槽は源泉かけ流し贅沢仕様です。山形県民が寒さ厳しい冬を乗り越えられるのは、この自然の恵みがあるからなんですね。

いが変わります。情熱的な赤や、高貴な紫、華やかな黄色、神秘的な白色や青。時には華やか、時には優しく変わらる音楽と、光の芸術に目が奪われました。子どもたちも大喜び。撮影スポットで可愛いポーズをとつていまし。